

2018年11月

発行 理事会

生活クラブ生活協同組合

〒524-0044

滋賀県守山市古高町 110 番地 8

TEL 077-514-2028

組合員数...2,239名



☆丸菱製麺さん 訪問しました! ☆

9月19日(水) NON-GM委員会、消費委員会、理事会合同で、東近江市にある丸菱製麺さんを訪問しました。委員おすすめの生うどんや、みんなから人気のぎょうざの皮の生産者です。国産小麦の自給率のことや、学校給食について、種子法廃止について、今後の課題など、たくさんのお話を聞いてきました。ぎょうざの皮の型を抜く作業も体験させていただきました。生産者に会うこと、また直接生産現場を見ることで、消費材がもっと好きになります。手間ひまかかった消費材、食べていきましょう。息子に世代交代した!とおっしゃる富江さん。息子さん世代からまた次へとつなげていきたいと思った訪問になりました。

★美味しくて、安全で、安心して食べられるうどん作りに、深い思いを持って取り組まれてこられたことが伝わってきました。「作る」だけではなく、うどんをどう広く親しんで食べてもらえるのか、そのために滋賀で“うどんサミット”を企画されたり、うどんを通して今後の“食”についても考えておられたりと、たゆまぬ努力と探究心を伺うことができました。思いのこもったおうどんが食べられることに感謝感謝。どんどん利用していきたいと思います。おうどんを



湯がく際、少量のお酢を入れると美味しく茹で上がるそうですよ。(林)

★丸菱製麺さんの冷やし中華、生うどんは私は普段からリピートしており、今回は県内ということもあり親近感をもって訪問しました。生産者訪問は今回で2回目ですが、知れば知るほど、消費材の特別さ、ありがたさが身にしみます。工場の中では人が行う作業がたくさんあること、衛生管理のため生産過程でかなり細かく記録を残すことに驚きました。基本的に製造日に出荷、というのも驚きで、日によっては午前2時3時から仕事開始、続いて各納入先へ車で配送、戻ってから機器類の洗浄を行うという毎日だそうです。社長からは、小麦とはどういう作物かという基本から、政策によって中小製粉会社が廃業を余儀なくされているということなど、ご自宅のリビングにて、とても分かりやすくレクチャーしてくださいました。「時代の流れ」と表現されましたが、うどんは安くて当たり前とみんなが思っていて、安売りスーパーではゆで麺一玉10円台で販売されるほどという厳しい現状。もし貿易が自由化されれば、もともと少ない国内小麦生産はさらに減少するだろう。種子法の廃止についても、当面は行政が担保はするものの、将来はどうかかわらず、小麦もGM化される可能性もあるだろう。などなど、課題を伺いました。小麦の生産量を増やすために、例えば、農家、製粉会社、製麺会社、消費者が合同で取り組めば可能だろう、とおっしゃいました。生活クラブのような組織ならできるんじゃないか、と。「目標は年間140万食」とのこと、よし、もっと食べよう!と思いました。(前井)



★製麺所を見学するのは今回が初めてでしたが、第一印象は“清潔にされているんだな”でした。富江さんのお話しにも「食中毒などが起きてはならないので丁寧な掃除は欠かせないが、それがとても大変」とのことでしたが、あのたくさんの機会を毎日きれいにするのは想像以上ののだろうと感じました。加えて朝も早い・・・重労働のおかげでおいしい物が食べられるのだと改めて知り、感謝していただこうと思いました。安いものにみんなが飛びつければ、日本の小麦農家さんは将来的に消えてしまい食べられなくなってしまう。小麦だけに限った話ではなく、日本のものがどんどん減っていってしまうかもしれない。現状を知ったうえで最終的に選択するのは個々の自由だけれど、まずは一人ひとりが知ることが大事なかなと思います。また、学校給食の小麦がほぼ外国産だったのには、やはりショックでした。小麦だけでなく安さ重視で食材などが選ばれるのは、未来の子どもたちの身体づくりにならないように思いました。親が声を上げて変えていければな！と感じました。(亀山)

※学校給食は市町村によって違います。

★今回製麺所へ訪問させていただき、1番驚いたことは、ギョウザ・しゅうまい・春巻きの皮の型抜きがすべて手作業で行われていたことです。機械で片抜きをしているものとばかり思っていたので、一つ一つ手作業で抜いていると説明を聞き、びっくりしました。実際に型抜きを体験させてもらうと、通常の製造時よりも少ない枚数の生地であったにも関わらず、たった1回だけで手が痛くなりました。この作業を何回も何回もくり返して作られた皮。これからはもっと感謝して口にしたいと思いました。また、食品を扱うということで、食中毒や食品アレルギーにも大変気を配られていました。どちらも機械の細部まで、しっかり洗浄することが大切だと分かりました。洗浄の方法はHACCPで細かく決められているそうです。カタログを見て注文する時には、どうしても市販品との価格の差があり、注文を控えてしまうこともありました。今回訪問させていただき、市販品との違いやこだわりが分かり、今後は納得して注文していきたいと思えます。「年間140万食」という丸菱さんの目標達成に少しでも近づけるよう、利用を増やしていきたいと思えます。(松原)



☆9月～11月は、仲間づくりキャンペーン期間です！☆

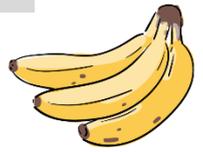
サンプル配るのは、なかなかできない・・・ 実際には、「もらって良かった！」とか、「お友だちに子どものアレルギーのことを話すきっかけになった。」なんてこともあります。サンプルがきっかけで、添加物や放射能のことを相談できる友だちになることも。気軽に渡してみてくださいね。また、どの生産者も、食べ手がいないと、作り続けられません。未来のためにサンプル配っているのよと、胸張って渡すのもカッコイイね♡



☆でんき 滋賀独自 1000円キャッシュバックキャンペーン☆

でんきも生活クラブの消費材のひとつです。原発由来のでんきより、再生可能なエネルギーを選ぼう！！ 滋賀でのエナジー仲間を増やしたい！との思いで、12月申し込みまで、消費材の請求から1000円キャッシュバックを行います。この機会をお見逃しなく♪

❖ネグロスツアー報告会 行ってきました❖



10月4日、大阪で開催された【ネグロス交流ツアー報告会】に参加して、ツアーに参加された大阪・兵庫・奈良の組合員、京都の職員、豆伍心の社員の方、計7名の報告を聞いてきました。

❖バラゴンバナナがどんな場所でどんな人たちに育てられ、どんなふうに乗ばれて私たちのもとへ届くのか、まったく知らなかった私。しかし、報告会でそれを知ることができ、さらにバラゴンバナナがすごいバナナだということに気づきました。丁寧に育てられ、丁寧に洗われ、丁寧に梱包されるバラゴンバナナ。スーパーで売られているような大規模農場のバナナとは違い安心安全だけでなく、このバナナを食べることで生産者の家計の支えとなり、子どもたちに教育を受けさせる助けにもなっているそうです。写真や動画で見たネグロスの様子は、道路も未舗装、停電もしょっちゅうとのことで、日本に住んでいる私たちからすると（何十年前？）と思うような暮らしでした。しかし、地域に住んでいるもの同士が助け合い学びあって、自分たちの暮らしを良くしていこうと実際に活動していることを知り、自分にはないたくましさや心の豊かさのようなものを感じました。見習いたいと思いました。実を言うと、わたしはバナナをほとんど注文したことがありません。しかし、こんな貴重なバナナは生活クラブだからこそ食べられるのだとわかり、（食べたい。）と思いました。知ることは本当にだいじなことだと感じた時間でもありました。今回知ったことを、みなさんにもお伝えしていきたいと思います。鈴木宏枝

❖印象に残ったことは、日本同様、フィリピンでも遺伝子組み換え問題や農薬問題、ファーストフードの影響で肥満やアレルギーの子供達が増えている現状を聞き驚きました。そして村ではそれを危惧した母親たちが集会を開き、勉強会や情報を共有しあい、安心安全な食を通して社会を変えたいと活動しているとの報告に生活クラブの活動理念とリンクしバナナを通して遠く離れたフィリピンを身近に感じることができました。そしてマンティケル村での日本では考えられないような不便な生活の中でも希望に溢れ、心豊かに自然とともに生活されている人達から学ぶことがたくさんあるなあと思いました。何時間もかかる悪路を旅して来るバナナたち、そのバナナを本当に丁寧に扱う人たちの様子に感動しました。スーパーへ行けば簡単に手に入るバナナですが、こんなにたくさんの人たちの努力と苦労の中で育ったバナナをちゃんと噛み締めながら食べ続けたいと思いました。そしてバラゴンバナナによって暮らしが豊かになって来たと感じ嬉しく思いました。この気持ちを持ち帰り、学区会などでバラゴンバナナの素晴らしさ、利用によって貧困と無学の問題の中にいる子供達の未来が明るいものになって行くことを伝えて行きたいと思います。山口紇

❖子どもたちとつくる未来 シンポジウム 報告❖

虐待や子どもの貧困が言われる中、どのようなことが個人としてできるか、何か活動を生み出していくことはできるのか？との思いでお話を聞きました。

・森山氏は、子どもの虐待や貧困の現状の中で、学習支援や悩み相談の窓口の活動をされています。今後の「社会的養育ビジョン」の方向性の中で、施設と里親の増加を目標としていられます。

・青砥氏は、さいたまユースサポートネットという団体で、交流の場や、さいたま市委託事業として学習支援や自立支援に関わっておられます。一つ興味深かったのは、ユースサポートネットの網の中に「ゆるりん」という、食事と学習支援とを行っている場所で、そこはいわゆる広い間口の「子ども食堂」ではなく、本当に必要のある人に向けての食事提供と学習支援をしています。また、国の予算として生活困窮者の学習支援の予算は年間60億円あり、そのうち30億円しか使われていない現状があるそうです。もともと子ども食堂に興味があったものの、実際貧困の子ども以外の人の利用も多いと聞くときに、何が得策か？と迷っていましたが、「ゆるりん」のような場所は理想的だと感じました。それも、様々な活動の結果だと思うので、まずは「子ども食堂」に実際行

ってみたり、下調べの必要性を感じました。

滋賀でも、子ども食堂の勉強会をしたことがあると聞いたので、何度か回を重ねることで、人が集まってきたりという可能性はないのか探りたいとも思いました。もう一つは、社会的養育ビジョンの中で言われていた、養護が必要な子どもの約8割が施設暮らしの中、これから里親率を75%まで引き上げることが目標、という数字を聞いて、里親制度についても詳しく調べたいと思いました。 上田佐和

☆いろんなところで生活クラブ☆

- ★げなげな市：11月4日（日）紫香楽一乃宮新宮神社 鶏肉はりまのおいしさをアピール！
- ★満月マルシェ：11月22日（木）マイアミ浜オートキャンプ場 肉まんをせいろで蒸します！
- ★三方よしエコフェア：12月8日（土）ピアザ淡海 リユースびんとせっけん展示！

11月 スケジュール案内

日	月	火	水	木	金	土
				1 富士見学区会 湖南学区会 湖東学区会	2 守山学区会	3
4 げなげな市（信楽プロジェクト）	5 ビオサポーター 養成講座	6 びわ湖環境 委員会	7 竜おうみ米 料理教室 （消費委員会）	8 リフレッシュ ツアー委員会	9 近江八幡 学区会	10
11	12	13	14	15 消費委員会	16 くるくる まわす会	17
18	19 ワクチンお話し会（信楽プロジェクト）	20 役員研修 （ワーカーズ）	21 NO-NUKES 委員会	22 満月マルシェ （理事会）	23	24
25	26 リフレッシュ ツアー報告会	27 理事会	28 『小さき声のカノン』鑑賞会 （リフレッシュ）	29	30	

生活クラブへの質問や、お悩みを募集しています！

♡切り取って、配送担当にお渡してください♡

さざなみ ぎもん・お悩みズバツと解決コーナー・Q&A 質問用紙

待ってるよ〜♡／



お名前（ ）

さざなみにお名前を掲載してよろしいですか？（はい ・ いいえ）